

地域で支える認知症

「羽幌町では、全人口に占める65歳以上人口の割合（高齢化率）が11月末現在で40%となりました。国全体の高齢化率は26.7%であり、いかに羽幌町の高齢化が進んでいるかがわかります。高齢化に伴い、認知症の方も増えていくと予想されますが、これからは介護保険制度のみならず、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」に向け、地域全体で支える仕組みが必要となります。

どうやって支えるの？

1 認知症の早期発見

「認知症」は単なる物忘れではなく、脳の病気です。早めに気付いて適切な治療ができれば、その後の進行を遅らせることができます。「最近物忘れが多いな」と感じたら、歳のせいと決めつけず、早めに医療機関に相談しましょう。

2 認知症の理解と地域の見守り

地域包括支援センターでは、出前講座の一環として『認知症サポーター養成講座』を実施しています。認知症サポーターは特別なことをする人ではありません。認知症を正しく理解し、温かい気持ちで見守り、手助けしてくれる人が地域にたくさんいれば、認知症の方も安心して生活できます。講座は無料、日時は希望に応じます。町内会でも、団体でも、小中学生も、少人数でも受講できます。どうぞ、お気軽にお申し込みください。

3 羽幌町はいかい高齢者等

『SOSネットワーク事業』（事前登録制）

もし、はいかいなどで高齢者の行方がわからなくなった場合、警察署に届出すると、地域包括支援センターを中心とし、役場、医療、福祉関係機関、交通、経済団体など地域全体が連携して、早急に捜索を行う事業です。はいかいは、時間が経つほど発見が難しくなります。心配な方は氏名や顔写真などを事前登録できます。地域包括支援センターにご相談ください。



9月、羽幌郵便局さまと北海道銀行羽幌支店さまの合同により『認知症サポーター養成講座』をおこないました！

☞お問い合わせ

健康支援課地域包括支援センター係
(すこやか健康センター内)

☎ 0164-62-6021